**地域密着型サービス運営推進会議記録（第　5　回）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 施設名 | グループホーム花乃苑 | |
| 施設種類 | 認知症対応型共同生活介護 | |
| 開催日時 | 令和２年　12月　28日　　１４時００分　～　１５時００分 | |
| 会場 | グループホーム花乃苑 | |
| 参加者 | 利用者代表 | 1人 |
| 利用者家族代表 | ０人 |
| 民生員 | ０人 |
| 高齢者お世話センター | ０人 |
| 市職員 | ０人 |
| 他事業所 | ０人 |
| 有識者 | ０人 |
| 事業者 | ４人 |

|  |  |
| --- | --- |
| 報告事項 | 1. 現状報告   **新型コロナウィルス感染症による感染予防のため、自施設のみでの開催。**  ２．入居者数　男性５名　女性１２名  　《要介護別》　要介護１（2名）要介護２（7名）　要介護３（6名）  　　　　　　　　要介護４（2名）要介護５（0名）    ３．入・退居者　11/14　退居　介護3女性　特養へ転居  　　　　　　　　11/16　退居 介護４男性　特養へ転居  　　　　※お二人とも以前より予約していた施設に空室ができたため転居  　　　　　　　　11/29　入居　介護3女性　自宅より  ４．活動内容  　　　　　　　お誕生会、クリスマス会  　　　　　　　コスモス畑見学 |
|  |
| 議題① | **「身体拘束等適正化対策検討委員会」**  〈検討内容〉  　現在、身体拘束や不適切なケアに該当する事例はなし。  　花乃苑では“身体拘束は原則禁止”を全職員が共通認識を持ち職務に携わっている。しかし、認知症による理解力の低下から利用者様は転倒やケガ、離設による事故等のリスクが高くなっているのも事実。利用者様の『安全確保』と『尊厳や自由を守る』事のバランスの取り方が難しいとの意見が職員より出た。  〈検討結果〉  ・入居時にご本人、ご家族へ身体拘束についての説明を十分に行い、尊厳と自由を守るためにはリスクが伴うことを理解していただく。  花乃苑では身体拘束は原則禁止＝事故のリスクは高くなる  ・事故を防ごうとするあまり、不適切なケアになっていないかを適時確認し改善を図る。  ・人は制限されると拘束感から不安を感じ、制限から逃れたくなると言われている。出来るだけ制限のない居心地の良い場所づくりを心掛ける。 |
| 議　題② | **「年末年始のご家族との面会について」**  ・徳島での感染者数は１０人以下と全国的にみて少ないが、東京等の大都市では感染拡大がみられる。花乃苑入居者様のご家族様には県外(特に感染拡大地域)に在住の方もいらっしゃり、年末年始の帰省も増えるため、対面での面会はできるだけ控えていただき、電話や距離を保っての短時間の面会をお願いする予定。  ・職員へも感染拡大地域や人混みへの不要不急の外出は控え、自宅においても感染予防に協力をお願いする。  **「利用者様の生活について」**  ・コロナ発生以前に比べると外出や慰問等、外部との交流が減り、ご家族や知人の方とも面会できる機会が減少している。感染対策を取りながら、気分転換が図れたり、楽しみを感じて頂けるよう施設内での年中行事やイベント、人混みを避けた外出行事(ドライブ、花見等)の計画を立てる。 |